

## 小林市立病院新改革プランの実施状況の点検・評価報告書

委員会名：小林市病院事業経営改革評価委員会

開催日：令和2年12月24日（木）15時～16時30分

### 1. 実施状況の点検及び評価方法

改革プランの各項目の実施状況について、小林市立病院が作成した小林市立病院新改革プラン取り組み実績及び自己評価を検証し、評価委員会の総意をとりまとめる形で点検・評価とした。

### 2. 点検及び評価対象期間

平成29年度～令和2年度

### 3. 評価委員会委員名簿

| 区 分       | 氏 名     | 役 職 等     |
|-----------|---------|-----------|
| 委員長       | 鬼塚 保行   | 小林市副市長    |
| 委員        | 峯田 勝巳   | 総務部長      |
| 委員        | 山下 雄三   | 総合政策部長    |
| 委員        | 大角 哲浩   | 健康福祉部長    |
| 委員        | 松田 和弘   | 医療介護連携室長  |
| 委員（学識経験者） | 遊木 和敏   | 西諸医師会事務局長 |
| 委員（住民代表）  | 山下 浩司   | 地域医療を考える会 |
| 委員（住民代表）  | 福森 一真   | 地域医療を考える会 |
| 委員        | 野田 祥弘   | 病院労組執行委員長 |
| 委員        | 坪内 斉志   | 事業管理者     |
| 委員        | 徳田 浩喜 ※ | 病院長       |
| 委員        | 貴嶋 誠樹   | 事務部長      |
| 委員        | 武田 愛    | 看護部長      |

※徳田病院長においては、緊急手術対応により欠席。

### 4. 点検・評価

#### （1）点検

改革プラン実施状況の点検については、数値目標を立てた項目について市立病院が作成した取り組み実績の資料の確認及び事務局からの説明を受ける形で点検した。

#### （2）評価

評価については、病院が自己評価を行った評価基準と同様とした。

### (3) 評価基準

| 評価 | 評価の基準                       |
|----|-----------------------------|
| 5  | 目標達成している                    |
| 4  | 概ね目標達成している                  |
| 3  | 目標達成に至っていない                 |
| 2  | 計画と実績が大きく乖離している             |
| 1  | 計画に基づいた取り組みが成されていない又は未着手である |

### (4) 評価結果

各項目に対する評価の内訳

評価5・・・1件

評価4・・・3件

評価3・・・1件

評価2・・・1件

評価1・・・0件

### (5) 委員からの確認事項及び意見等

委員から病院へ確認を行った事項

新たな寄附講座開設に伴う紹介率及び逆紹介率に与える影響について

救急車の受け入れ台数と救急患者の受け入れ人数の算出方法について

DPC 係数について

決算における減価償却の考え方について

医師確保（必要医師数）の目標数について

委員からの意見

地域包括ケアシステム構築にもご理解とご協力をいただいております、コロナ禍においても、役割を果たしているため、引き続き安心安全な医療提供を行っていただきたい。

不採算部門を担っており、医師確保も大変厳しい状況ではあるが、経営においては、資金不足を解消するよう引き続き努力いただきたい。

事業管理者になられてから、病院の担うべき医療や、地域における病院の立ち位置については、これまで一貫性があり、考え方もわかりやすい。西諸地域の民間のクリニック等においても閉院されている現状がある中で、公立病院に求められる期待は増えてくるものと認識しており、住民側としては、地域における市立病院の立ち位置について広く周知できるよう今後も活動を通して務めていきたい。

(6) その他

今後のスケジュールについて

次年度以降における改革プランの策定にあたっては、総務省から新たなガイドラインが示された後、新改革プランの素案を作成し、本会にて承認後に策定するものであることを事務局より説明を受けた。